

どんぐりの芽

発行者 広島自然観察会

(広島県自然観察指導員連絡会)

代表 真鍋 節夫

〒732-0063 広島市東区牛田東 2-15-8-510

Tel&Fax:082-221-0732

Facebook ページ 「広島自然観察会」



ヤマナメクジ交尾 安芸太田町「三段峡」 16. 7.18. 撮影:吉岡

「何じゃこりゃー？ ヘビじゃー！？ いや、ナメクジ。 でかっ！」

担当する観察会は何度か下見して、安全面や時間設定を考慮し本番に備える。あろうことか、県外に嫁いだ娘夫妻が海の日連休に帰省し三段峽に行きたいと申している。(よしよしっ、親父の知ったかぶりを見せびらかせちゃろう！) 遊歩道を歩き始めてほどなく、「うわおーっ！！」なモノが手の届く目の前に！！ すわっマムシか？ トグロ巻いとる？ 「ヤマナメクジじゃね。交尾しよるんでそっとしといてやってね！」と、余裕で解説してみる。(子育て中は子どもたちのスポーツの応援で家族はフィールドには連れて出ていなかったよな、と。反省。(笑))

ヤマナメクジ(山蛞蝓):ナメクジ科 ナメクジ属 学名:Meghimatium fruhstorferi 英名:Slug

軟体は巨大で、普通見かけるナメクジが4~5cmなのに対しヤマナメクジは10cm以上あり13~16cmに及ぶ個体もある。山地性で冬期は老樹の洞穴内深くに潜入して越冬している。本州・四国・九州に分布する。ナメクジやカタツムリなどは雌雄同体で、1匹のナメクジのなかに雄の性器と雌の性器を持っており、雄と雌の機能が同時に成熟する。2匹が巴形にからみ合い、交尾の際はお互いのペニスを相手の生殖孔に挿入して精子を交換する。一年に300個ほどの卵を産むといわれている

身近な自然を知り、大切に作る気持ちを持ち続け、この大切な地球を「先代たちからの授かりもの」としてだけでなく、「次世代たちからの預かりもの」として引き継ぎましょう。

広島自然観察会は、どなたでも、いつでも参加できます。

初めて参加された方にもわかりやすく解説できる通訳の係として、「自然観察指導員」がお手伝いいたします。どうぞ、皆様お誘い合わせのうえ、お気軽に一度訪れてみてください。